

IV. 試験研究の概要

研究企画部門 【研究企画室】

研究調整に係わる主要経過

月日	行事内容	月日	行事内容
4. 1	転入者を迎える会(本所)	8. 3	農商工連携等人材育成事業講義(長崎市)
5	所長ヒアリング(研究企画・食品・森林・干拓)	3	センター公開準備委員会(本所)
6	所長ヒアリング(土壌・病害虫・果樹)	5	戦略プロ打合せ会(長崎市)
7	所長ヒアリング(作物・茶・花き・野菜・パレイシヨ)	8	農林業大賞予備審査(地域営農部門)(長崎市)
8	所長ヒアリング(畜産)	9	農林業大賞予備審査(しまの農林業経営・高度生産集団部門)(長崎市)
11	振興局農業企画課長及び地域普及課長会議(長崎市)	9	合同ゼミ(島原市、雲仙市、中央干拓)
12	農業大学校入学式(諫早市)	10	第2回研究事業評価委員会(長崎市)
15	戦略プロ(環境)検討会(本所)	11	研究事業評価第1回農林分科会(本所)
18	農林部関係地方機関長会議(長崎市)	17	九州地区場所長会議(佐賀市)
26	企画担当者会(長崎市)	24	九州沖縄地域マッチングフォーラム(那覇市)
		25~26	九州農業研究発表会(那覇市)
5. 10	研究機関長会(長崎市)	9. 2	研究事業評価第2回農林分科会(本所)
11	試験研究普及推進要領改訂検討会(本所)	6	合同ゼミ(東彼杵町、大村市)
16	ピワ茶検討会(本所)	7	ながさき農林業大賞運営委員会(長崎市)
17	センターニュース委員会(本所)	8	日本学校農業クラブ全国大会問題策定委員会(諫早市)
19	試験研究普及推進要領改訂検討会(本所)	14	農林試験研究機関退職者協議会役員会(本所)
20	ワイヤーメッシュ設置(本所)	16~18	食農資源経済学会(長崎市)
30	農林試験研究機関退職者協議会役員会(諫早市)	21	イネ国際シンポジウム(福岡市)
31	試験研究・普及推進要領改訂検討会(本所)	28	県議会農水経済委員会(長崎市)
31	試験研究推進構想改訂検討会(本所)	29	センター公開準備委員会(本所)
31	日本学校農業クラブ審査打合せ会(島原市)		
6. 1	試験研究成果地区別報告会(五島市)	10. 5	日本学校農業クラブ全国大会問題策定委員会(諫早市)
6	センター公開準備委員会(本所)	7	干拓新エネルギー協議会上期報告会(本所)
13	試験研究・普及推進要領改訂検討会(本所)	17	日本農業賞長崎県審査会(長崎市)
14	県議会農水経済委員会説明会(長崎市)	18	第3回研究事業評価委員会(長崎市)
14~17	研究事業評価内部検討会(長崎市)	18	食と農の技術交流会 in 九州(福岡市)
22	九州場所長会企画担当者会(熊本市)	20	知事と農業団体との意見交換会(長崎市)
22	日本学校農業クラブ・リハーサル大会(島原市)	20	センター公開準備委員会(本所)
23~24	全国農業関係試験研究場所長会(和歌山県みなべ町)	21	学位取得報告会(本所)
24	九州バイオリサーチネット総会、講演会(熊本市)	24	日本学校農業クラブ全国大会審査打合せ会(諫早市)
28~30	西諫早中職場体験学習(本所)	25	日本学校農業クラブ全国大会:審査打合せ会、審査会(大村市)
7. 1	農林試験研究機関退職者協議会総会(諫早市)	25	図書委員会(本所)
6	ホームページ委員会(本所)	26~27	日本農業クラブ全国大会(大村市)
12	県議会農水経済委員会(長崎市)	26	九州・沖縄地域研究普及連絡会議(熊本市)
20	戦略プロ(環境)現地検討会(諫早市、雲仙市)		
21	戦略プロ(有色パレイシヨ)連絡推進会議(雲仙市)		
21	干拓営農研修会(森山町)		
27	第1回研究事業評価委員会(長崎市)		

研究企画部門

月日	行事内容	月日	行事内容
11. 1	センター公開準備委員会(本所)	2. 2	企画担当者会(長崎市)
4	長崎市農業振興計画検討委員会(長崎市)	2	ながさき地産地消マッチングフェア(佐世保市)
5	センター一般公開(果樹・畜産研究部門)(大村市・島原市)	2	諫干支援センターあり方検討会(諫早市)
9	県議会農水経済委員会県内視察(雲仙市)	6	室別検討会(畜産)
12	センター一般公開(本所)	7	農林水産技術会議事務局との育種検討会(本所)
15	実り・恵みの感謝祭打合わせ(本所)	7	室別検討会(食品加工・研究企画・土壌・病害虫)
15	農林部関係地方機関長会議(長崎市)	8~9	九州試験研究推進会議気象部会(合志市)
18	鳥インフルエンザ警戒連絡会議(諫早市)	9	ながさき農林業・農山村活性化計画推進委員会(長崎市)
19~20	実り・恵みの感謝祭(長崎市)	10	科学技術振興会議(長崎市)
21	五島ツバキ茶検討会(福江市)	10	室別検討会(花き)
22	要望問題・新規課題室別検討会(パレイショ)	13	室別検討会(森林・野菜)
22	鳥インフルエンザ防疫演習(諫早市)	14	室別検討会(パレイショ・作物)
26	センター一般公開(干拓部門)(諫早市)	15	室別検討会(茶・果樹)
28	要望問題・新規課題室別検討会(茶・土壌・企画)	16	センター内検討会(花き・畜産)
29	要望問題・新規課題室別検討会(干拓・作物・食品)	17	センター内検討会(食品加工・研究企画・土壌・病害虫)
30	要望問題・新規課題室別検討会(野菜・病害虫)	20	センター内検討会(茶・干拓)
		21	センター内検討会(森林・野菜)
12. 1	要望問題・新規課題室別検討会(花き・生物)	22	センター内検討会(パレイショ・作物)
2	要望問題・新規課題室別検討会(果樹)	23	センター内検討会(果樹)
5	要望問題・新規課題室別検討会(畜産)	28	部門別検討会(花き・干拓・総合営農)
6	要望問題・新規課題室別検討会(森林)	29	部門別検討会(いも・茶)
8	アグリビジネスマッチング大作戦(本所)		
13~16	要望問題・新規課題センター内検討会	3. 1	部門別検討会(野菜)
21	農林業技術連絡会議(長崎市)	2	部門別検討会(森林・農産)
22	センター公開反省会(本所)	2	諫干支援センターあり方検討会(諫早市)
		5	部門別検討会(果樹)
1. 4	仕事始め式(本所)	6	部門別検討会(畜産)
16~17	イノシシ捕獲研修(鳥栖市)	8	県議会農水経済委員会(長崎市)
18	長崎県産学官金連携推進特別フォーラム(長崎市)	9	新育種事業検討会(本所)
19	ながさき農林業・農山村活性化計画推進会議(長崎市)	12	新育種事業検討会(本所)
24	ながさき地産地消マッチングフェア(長崎市)	13	農業大学卒業証書授与式(諫早市)
25	試験研究推進構想説明会(長崎市)	14	戦略プロ(環境)検討会(本所)
27	長崎大学・金融機関産学交流相談会(長崎市)	16	戦略プロ(有色パレイショ)連携推進会議(本所)
		19	新育種事業検討会(本所)
		21	諫干支援センターあり方検討会(諫早市)
		23	農林水産技術会議事務局との育種事業検討会(東京都)
		26	九州沖縄試験研究推進会議本会議(合志市)
		27	九州場所長会議企画担当者会(合志市)
		30	九州場所長会議事務局打合せ会(本所)

規模拡大を目指した露地アスパラガスの生産技術確立(県単 平22~26)

アスパラガスを主幹とした経営、水田での輪作体系における露地アスパラガスの生産技術確立の検討と、その収益性に関するシミュレーションを行うための、コスト分析・売上予測およびシミュレーター作成・改良を実施する。露地アスパラガス栽培の試験圃場における作業時間、伏せ込み栽培の機械による株の掘り取り、伏せ込み作業時間、労力を測定した。また、資材費等の直接費用の調査と、市況価格等、収穫物に関するデータの収集も並行して行い、露地アスパラガス栽培体系毎の指標作成を進めている。長期どりも含めた、栽培体系組み合わせた場合の表示項目などアスパラガスのシミュレーター作成に向けた検討を行った。

(盛高正史)

企業的農業経営確立手法の開発(県単 平23~25)

農業経営改善計画や支援活動の管理を行う認定農業者データベースを作成し、企業的経営に向けた経営改善への志向等を把握するため、平成23年11月時点での6,327経営体の計画書から従事構成や拡大や品目導入の分類を行った。露地野菜では経営品目の拡大の割合が多く、経営計画策定や外部労力の円滑な確保が必要となることが明らかとなった。また、企業的農業経営への経営改善状況等調査においては雇用労力を導入している3経営体へ雇用労力の確保、育成の状況を調査した。経営計画策定における面談方式による支援や農業者の利用を促進するため、入力項目を極力少なくするなど簡易な操作で、所得や労働時間等の経営収支の試算や旬別労働時間試算により、雇用管理にも活用できる所得等簡易

試算ツールを作成した。

また、大規模経営体への労力実態調査については、4 経営体を対象に行い、労力データ等を入手し、労力管理を支援するデータベース等の作成に着手した。

(清水一也)

新規品目の提案型 PR と普及・定着支援ならびにそのための基礎調査(研究マネジメント FS 平 23)

耕作放棄地等に有望な新規品目として、サトウキビ、野菜パイナップルを選定し、作物研究室、野菜研究室、食品加工研究室

と連携し、栽培加工特性の把握、先行取り組み事例調査、実需者等への PR 活動を行った。サトウキビにおいては、脱葉時の芽子の痛みによる発芽率の低下等の課題があるものの、他産地と同等の収量が得られ、食味評価が高い品種ならびに濃縮でのアクトリ処理方法を明らかにした。加工経費等を継続して調査する必要があるものの、収益性がある品目と判断できた。

(清水一也)

【食品加工研究室】

規模拡大を目指した露地栽培アスパラガスの生産技術の確立 未利用部位を生かした加工技術の開発

(県単 平 22~26)

1. 部位別成分特性の解明

半促成長期どりアスパラガスの部位別の成分について、平成 22~23 年の 2 年間、春芽と夏芽それぞれの可食部位(上部、中部、下部)と、廃棄部位(切り下、廃棄根)について、水分率、総ビタミン C、全糖、食物繊維、総ポリフェノール、ルチンなどの成分を測定した。

その結果、可食部位の上部は他の部位に比べ総ビタミン C、総ポリフェノール、ルチン含量が高く、廃棄部位の切り下部は上部を除く部位とほぼ同様の総ビタミン C、全糖含量、総ポリフェノール、ルチン含量をもち、また他の部位に比べ食物繊維含量が高いことが分かった。

時期別においては、全部位において夏芽は総ビタミン C に高いことが分かった。

2. 一次加工適性の検討

半促成長期どりアスパラガスの可食部と切り下部について、ペースト加工条件を検討した。

その結果、1cm 幅に調製後、90 度で 3 分間湯通しし、磨砕後、目合い 1.5mm で裏ごしすると、可食部で 7 割、切り下部で 6 割の歩留まりになることが分かった。

作成したペーストの緑色については、部位別(可食部、切り下部)であり差は見られなかったが、収穫時期別(春芽、夏芽)では、春芽で濃く、夏芽で薄い傾向になった。

(土井香織・澤田智子)

長崎有色ばれいしょの加工品開発(県単 平 21~23)

1. 加工品開発

「西海 31 号」の生、及びフレークを用いて、県内食品企業の

協力を得て、加工品の試作を行った。「西海 31 号」を加えた「じゃがいもこせんべい」は、イベントを利用してアンケート調査を実施した結果おおむね好評であり、地元の農業公社より秋作産を購入してテスト販売を行う予定である。また、「赤じゃがチャーメン」や、焼酎や麺、菓子などの試作も進めた。

(西 幸子・濱邊 薫)

2. 1 次加工品の周年安定供給技術の確立

1) 貯蔵特性の解明

「西海 31 号」の長期貯蔵技術確立を目的に、貯蔵温度の違い、及び貯蔵開始時期の違いによるアントシアニン量の変動を調査した。

その結果、春作において 8 月以降に加工利用する場合、収穫 30 日後までに 3℃ 貯蔵を開始することにより萌芽を 0.1cm 以下、重量変化を 5% 以内に抑制することができることが明らかとなった。また、30 日後に 3℃ 貯蔵する場合、糖化は促進され、アントシアニンの減少は抑制された。また、収穫後 80 日以内であれば、貯蔵温度が 3℃ と 8℃ ではアントシアニン量に大きな変化はない。

(濱邊 薫)

2) 1 次加工技術の開発

「西海 31 号」のドラム乾燥物を保存する場合の温度の違いによる品質への影響を調査した。その結果、保存温度が 5℃ では 6 ヶ月間は色調の変化や香りの変質が少ないが、20℃ では 2 ヶ月後から色調の変化が大きく、香りが変質することが明らかとなった。

(濱邊 薫)